

デンタルフェスティバル 活動報告

開催日： 令和7年6月8日（日）11:00～14:00 参加者：123名

開催場所： まちなかコミュニティセンターおよび三ヶ町商店街アーケード

休日ということもあって、お子様連れの方も多く幅広い年齢層の方の来場がありました。これまで「歯の汚れを落とすため」だった歯磨きが、「健康のためのお口のケア」という意識の違いにつながってきていると感じるイベントでした。

看護協会「まちの保健室」では、来場者に血圧測定・血管年齢測定・健康相談を実施。

看護師視点での食事や運動等についてアドバイスをし、ご来場の方々との交流を図ることができました。今後も市民の皆様の健康につながる活動を行って参ります。



県北支部交流会 活動報告

《2年目看護職員交流会》

日 時：令和7年8月30日（土）14:00～16:00

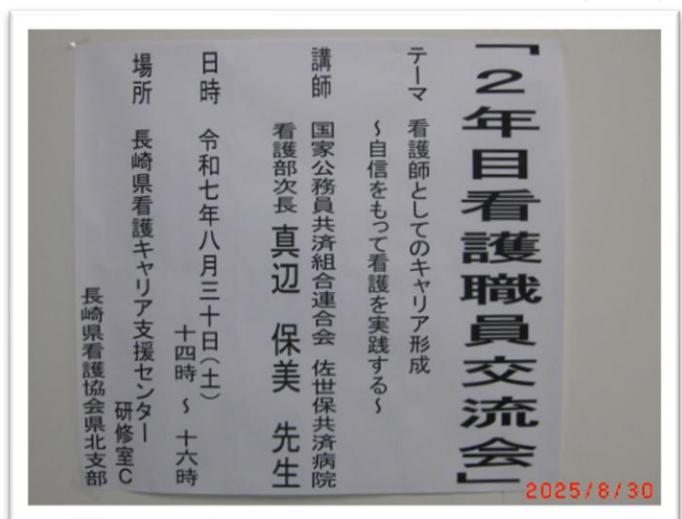
講 師：佐世保共済病院 看護部次長 真辺 保美 先生

参加者：6名



2025年度の県北支部交流会「学び高め合おう、私たちの看護」をテーマに、2年目看護職員交流会を開催しました。

受講生の声として「他施設との交流で、悩みや目標を共有できて良かった」「自分を振り返り、今後について改めて考える機会となった」などの意見が聞かれ、2年目看護師同士、2年目ならではの悩みや今後の看護師像を、グループワークで共有・個々の看護観や実践力に繋がる交流会となりました。



県北支部交流会 活動報告

行事名：施設職員交流会 参加者：13名

日 時：令和7年10月4日（土）14:00～16:00

会 場：長崎県看護キャリア支援センター

講 師：佐世保中央病院 認知症疾患医療センター

精神保健福祉士 日和田 正俊 先生

テーマ：「認知症患者の看護～身体抑制をしない看護～」



今回の交流会では、認知症患者やせん妄に対する看護において「周囲の不適切な対応や、急な環境の変化がせん妄やB P S Dを招く」という内容を講義いただき、日ごろの看護を振り返り、今後はどのように対応すれば良いかを具体的に学ぶことができました。また、ユマニチュードの実際を視聴し、患者さんの表情の変化に驚きと感動を覚えました。グループワークでは、議題を通して活発な意見交換が行われ、施設間の情報共有や受講者間の交流を深める良い機会となり、実りある交流会となりました。



『ふれあい看護体験』プログラム

日 時 令和7年10月18日(土) 14:00~17:00

(※進路相談参加者は17:30終了予定)

場 所 長崎県看護キャリア支援センター

《内 容》

- 13:30 受付
- 14:00 挨拶
- オリエンテーション



14:05 現役看護師4名による体験談のお話 (各・10分程度)

* 新卒看護師 2名 … 高校生時代～看護学生時代～現在までの体験談

テーマ 「聞いてみたい、高校時代から現在までのリアルな日常」

① 納所 真輝 様(北松中央病院)

② 田川 愛華 様(佐世保中央病院)

* 助産師 1名 … 助産師として働き始めてから現在までの体験談

テーマ 「助産師の仕事ってどんな仕事？」

③ 池田 侑希 様(佐世保市総合医療センター)

* 脳卒中看護認定看護師 1名 … 活動内容の紹介

テーマ 「脳卒中看護認定看護師を知ろう

～特定分野を極めたスペシャリストの活動～」

④ 本竹 由香里 様(長崎労災病院)

質疑応答

15:00 休憩

15:10 看護技術体験 (1グループ5名/3グループ構成 ローテーションで体験します)

- ① バイタルサイン測定(血圧測定・脈拍測定・spo2測定)
- ② 妊婦疑似体験、ベビー人形を使った体験
- ③ 手洗いチェック一体験
- ④ シーツ交換体験

16:30 アンケート記入・グッズ配布・記念撮影

17:00 終了(※進路相談に参加されない方はここまで)

進路相談 参加者は17:30終了予定

佐世保市立看護専門学校の先生方による学校の紹介や、質問や相談等の対応など

今年も「ふれあい看護体験」を実施しました！

当曰は、県北地区5校15名の高校生が参加されました。まずは新卒看護師・助産師・脳卒中看護認定看護師の体験談発表。新卒看護師の2名は高校時代～現在までの内容で、看護師を目指したきっかけ、看護学生時代のリアルな生活、実習が苦しかった時の乗り越え方、気持ちの切り替え方や考え方、看護師になった現在の想いなどをわかりやすく話され、参加学生はうなずきながら、近い将来の自分の姿をイメージされているようでした。

助産師の方は、現在携わっている仕事の様子を、写真や動画でわかりやすく紹介、助産師を目指したきっかけ、実体験の様々な出来事の話を丁寧に伝えられていました。

脳卒中看護認定看護師の方は、資格取得を目指したきっかけ、脳卒中看護の専門看護師としての仕事内容などをわかりやすく教えてくださいました。

看護技術体験では、今回初めて妊婦疑似体験を取り入れました。お腹に8kgの重りを付けての階段昇降、椅子から立ち上がる動作、靴下をはく動作など。。。通常では何ともない日常動作を体験し、妊婦さんの大変さ、母親の偉しさなどを実感されていたのが印象的でした。また、ベビー人形を使って、抱っここの仕方や重さを体感し、助産師への憧れを強くされている学生もいました。

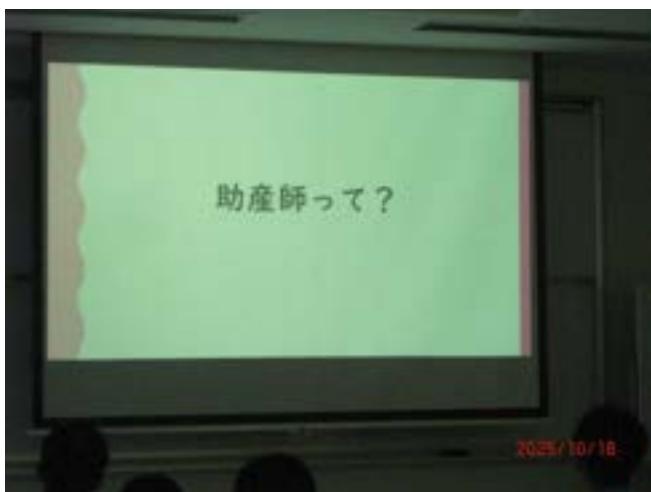
その他の体験ブースでは、手洗いチェッカ一体験、シーツ交換体験、バイタルサイン測定体験などを実施。簡単そうに見えても、実際にはとても難しく四苦八苦されていました。それでも皆さん、真剣に取り組まれ、時間の合間に様々な質問なども活発に飛び交い、現役看護師との交流を深められて、とても有意義な時間が過ぎていきました。

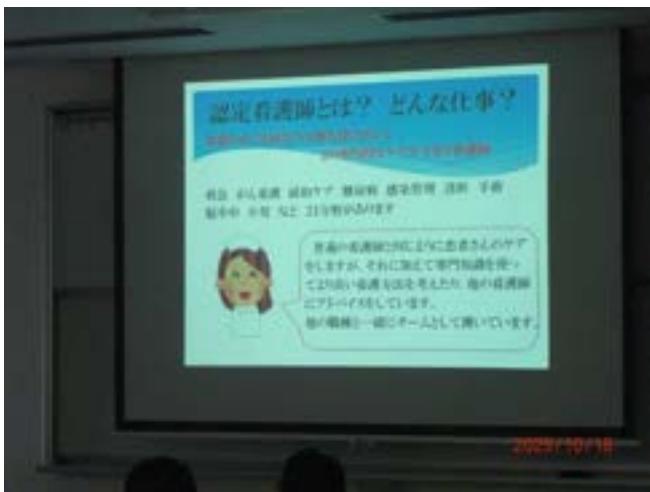
また、今回は進路相談の時間を設け、佐世保市立看護専門学校の先生にもご協力をいただき、希望者の方からの質問等に丁寧にお答えいただきました。

では、当日の皆さんの様子をご紹介します。

将来皆さんと一緒にお仕事できることを楽しみに待っています(^^)/

看護師による体験談発表風景





看護技術体験風景

バイタル測定体験



* 妊婦疑似体験(ベビ一人形抱っこ体験) *



手洗いチェック一体験



シーツ交換体験



* 進路相談の様子 *



* 講師の方々 *



* 記念撮影 *



平戸市福祉健康まつり 活動報告

開催日： 令和7年10月26日（日）9:30～13:30 参加者：164名

開催場所： 平戸文化センター

「障害のある方や高齢者、こどもたちの福祉と健康について、地域全体で誰もが安心して暮らせる社会を実現するために」という目的をもつ今回のイベントでした。老若男女幅広い年齢の方のご参加がありその熱量に驚かされました。

健康相談コーナーは、お薬相談、リハビリ体験、食育、認知症、共に生きるペットとの過ごし方など幅広くその中で看護協会「まちの保健室」では、血圧測定、血管年齢測定、健康相談を実施。血管年齢測定では数値に一喜一憂されるほど人気でした。（毎回どのイベントでもそうですが）

今後もお一人お一人の視点でわかりやすい説明を心がけて、活動していくたいと考えています。



県北支部交流会 活動報告

《施設管理者交流会》



日 時：令和7年11月22日（土）14:00～16:00

情報提供：長崎県看護協会 副会長 木下 日出美 氏 「看護職の生涯学習について」

長崎県看護協会 専務理事 余里 康子 氏 「看護職賠償保険について」

コンテンツ視聴

第4章 教育計画の立案と研修による支援の実際

第5章 多様な生涯学習支援の方法

参加者：20名



2025年度の県北支部交流会「学び高め合おう、私たちの看護」をテーマに、施設管理者交流会を開催しました。

情報提供を受け、自施設での院内教育支援への取り組みとして、受講者からは、「院内学習会の計画や教育部委員会の運営、人材育成において実践できたらと思いました。」、「学生にも生涯教育の必要性をもっと喚起していきたい」など意見が聞かれました。各施設や学校教育における生涯学習の支援について、共有が深められた交流会になりました。

